

学校だより

【第1号】平成30年4月24日発行



＜群馬県立しろがね特別支援学校通信＞

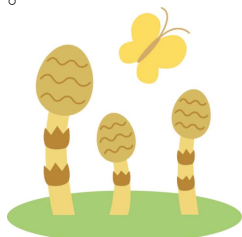
平成30年度を迎えました

群馬県立しろがね特別支援学校 校長 加世田 直人

今年は3月末に桜が満開となり、入学式まで待ってくれませんでした。4月10日、平成30年度群馬県立しろがね特別支援学校の入学式が行われました。児童生徒の皆さん、入学・進級おめでとうございます。

さて、30年続くこの「平成」は、いよいよあと1年、平成31年4月30日までとなりました。本校は昨年度、分校から通算20周年という節目の年にあたり、創立20周年記念式典が執り行われ、今年度、21年目に突入しました。単独校化してから4年目となりますが、年々、新たな歴史を刻んでいます。今年度も新たに16名の高等部入学生と1名の中学部入学生、そして10名の新着任職員を迎え、スタートしました。

本校では、子どもたち一人ひとりの特性を把握し、それぞれのニーズに応じた学習環境を提供するとともに、個々のライフスタイルを見据えた支援を目指し、職員一同が一致協力して頑張っていますので、保護者の皆様のご協力と地域の皆様のご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



ご入学おめでとうございます

4月10日、中学部と高等部の入学式が行われました。高等部1年生の代表生徒が、中学部1名、高等部16名の入学生代表として、「誓いの言葉」を述べました。とてもしっかりとした口調で、しろがね特別支援学校がもっともっと素敵な学校に発展することを確信しました。

